

# 令和5年度 第1回学校評価考察

能登町立小木小学校

	重点目標	評価の観点	評価：達成度判断基準	総合	達成状況（考察と改善方針等）
1	確かな学力の向上 ①学習規律の徹底と学習習慣の定着 ②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ③ICTの活用 ④特別支援教育の充実	<成果指標> ・「算数で、理由をはっきりさせて説明していますか。」と答える児童の肯定的評価	児童アンケートで肯定的評価が A：80%以上 B：70～80%未満 ③C：50～70%未満（64.7%） D：50%未満	B	○GIGA担当がこまめにGIGA通信を発行したり、研修会を開いたりしている。その内容が児童に還元されている。 ○「特別支援教育の観点から授業を工夫している」職員が100%だったのは、組織的に取り組んでいる成果である。 ・「意見交換の場を確保し、考えを磨きあう授業を進めている」教職員が83%（A評価）だったが、これに対して「算数で、理由をはっきりさせて説明している」児童は64.7%（C評価）に留まった。授業者はねらいを達成した児童の具体的な姿を持ち、見取りをしっかりと行っていく。また、校内研修の共通実践である「図・式・言葉」を手立てとして、児童の発話量を確保する授業を行っていく。これらの課題を解決するために中期プランをチームで提案し全員で検討する。 ・「学習規律・習慣の継続的指導」は、職員の授業力育成にも繋がる。春に提案した基盤をもとに共通実践を行っていく。また、共通実践について使いつらさも検討しながら、全員が確実に実施する体制を整えていく。
		<成果指標> ・「ノート指導などの学習規律・習慣を継続的に指導している。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートで肯定的評価が A：80%以上 ③B：70～80%未満（73.0%） C：50～70%未満 D：50%未満		
		<満足度指標> ・「意見交換の場を確保し、考えを磨きあう授業を進めている。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートで肯定的評価が ③A：80%以上（83.0%） B：70～80%未満 C：50～70%未満 D：50%未満		
		<努力指標> ・「ICTを活用した授業に取り組んでいる。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートで肯定的評価が ③A：80%以上（83.0%） B：70～80%未満 C：50～70%未満 D：50%未満		
		<努力指標> ・「特別支援教育の観点から授業を工夫している。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートで肯定的評価が ③A：80%以上（100%） B：70～80%未満 C：50～70%未満 D：50%未満		

2	<p>豊かな心と社会性の育成</p> <p>①海洋教育を基盤とした心の育成</p> <p>②人間関係づくりと社会的ルールの定着</p> <p>③積極的生徒指導の充実</p>	<p>&lt;成果指標&gt;</p> <p>・「いま、学校は楽しい。」と答える児童の肯定的評価</p>	<p>児童アンケートで肯定的評価が</p> <p>Ⓐ：80%以上 (80.4%)</p> <p>B：70～80%未満</p> <p>C：50～70%未満</p> <p>D：50%未満</p>	A	<p>○満足度指標と努力指標についての評価は高く積極的な生徒指導は進められている。しかし、成果指標については2割近くの児童が否定的評価をしており、今後の課題となってくる。</p> <p>・生徒指導や特別支援教育に関する校内研修を計画的に行い、全職員での共通理解を図っていく。</p> <p>・Q-U等のアンケートで気になる児童については、個別に面談を行っていく。</p> <p>・保護者からの信頼をこれからも得ていくために、こまめに児童・保護者とのコミュニケーションをとっていく。</p>
<p>&lt;満足度指標&gt;</p> <p>・「学校ははじめ・不登校のない楽しい学級づくりに努めている。」と答える保護者の肯定的評価</p>	<p>保護者アンケートで肯定的評価が</p> <p>Ⓐ：80%以上 (98.0%)</p> <p>B：70～80%未満</p> <p>C：50～70%未満</p> <p>D：50%未満</p>				
<p>&lt;努力指標&gt;</p> <p>・「子どもの不安や悩みを理解し、個に応じた指導に取り組んでいる。」と答える教職員の肯定的評価</p>	<p>教職員アンケートで肯定的評価が</p> <p>Ⓐ：80%以上 (100%)</p> <p>B：70～80%未満</p> <p>C：50～70%未満</p> <p>D：50%未満</p>				
3	<p>保護者・地域に信頼される学校作り</p> <p>①安全・安心な学校</p> <p>②保護者、地域との連携</p>	<p>&lt;成果指標&gt;</p> <p>・「学校は、子どもの事について気軽に相談できる。」と答える保護者の肯定的評価</p>	<p>保護者アンケートの肯定的評価が</p> <p>Ⓐ：80%以上 (95.9%)</p> <p>B：70～80%未満</p> <p>C：50～70%未満</p> <p>D：50%未満</p>	B	<p>○地域との連携ということで、地域の方々をゲストティーチャーとして招いて授業を行うことがコロナが5類になったにもかかわらず、肯定的評価が低い。</p> <p>○子どもの様子が学級だより等で分かると保護者の肯定的評価が高い。</p> <p>・児童一人一人について担任や職員が丁寧に対応、説明できていると考える。取組を意識し継続していく。</p> <p>・学校だより、学級だよりは具体的な内容でわかりやすく作られている。</p> <p>・ホームページの更新は、情報担当が職員へ啓発し、頻度をあげている。</p> <p>・2学期は、海洋教育を中心に、全学年の担任が地域のことを授業に取り上げていく。</p>
<p>&lt;満足度指標&gt;</p> <p>・「教育方針や子どもの様子が学校・学級だよりやホームページ等で分かる。」と答える保護者の肯定的評価</p>	<p>保護者アンケートの肯定的評価が</p> <p>Ⓐ：80%以上 (98.0%)</p> <p>B：70～80%未満</p> <p>C：50～70%未満</p> <p>D：50%未満</p>				
<p>&lt;努力指標&gt;</p> <p>・「学級だよりで、学級経営方針や児童の様子を保護者に知らせている。」と答える教職員の肯定的評価</p>	<p>教職員アンケートの肯定的評価が</p> <p>Ⓐ：80%以上 (100%)</p> <p>B：70～80%未満</p> <p>C：50～70%未満</p> <p>D：50%未満</p>				
<p>&lt;努力指標&gt;</p> <p>・「地域の人材や素材を活用した授業を取り入れている。」と答える教職員の肯定的評価。</p>	<p>教職員アンケートの肯定的評価が</p> <p>A：80%以上</p> <p>B：70～80%未満</p> <p>Ⓒ：50～70%未満 (50.0%)</p> <p>D：50%未満</p>				

4	プロとしての自分を磨き、子どもに関わりきる教職員 ①サービス規律の遵守 ②教職員の資質・授業力向上	<成果指標> ・「職員研修で学んだことを積極的に校務に生かしている。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートの肯定的評価 (A): 80%以上 (100%) B: 70~80%未満 C: 50~70%未満 D: 50%未満	A	○いずれの指標も肯定的評価が95%を超える高い評価となった。 ○授業整理会のまとめで、「明日から実践する具体的な取組」を確認している。そのことを実践に生かし、授業力向上に向けて努力している。また、若手教員育成プログラムでもサービス規律に関するものや、保護者懇談会にむけてなど、実践的な内容で研修している。 ○運動会や相撲大会など保護者が来校して実際に学校の様子を見て、安全な環境づくりを評価していただいたと考える。また、ホームページや学級通信で活動の様子を発信していることで、学校での取組が広く周知されたことが良かったと考える。 ・今後、この結果を踏まえて、よかったことは具体的に何が良かったか共有していく。現状維持ではなく、より良くしていく意識をもって取り組んでいく。
		<満足度指標> ・「学校は、安全・快適な環境づくりに努力している。」と答える保護者の肯定的評価	保護者アンケートの肯定的評価が (A): 80%以上 (96.1%) B: 70~80%未満 C: 50~70%未満 D: 50%未満		
		<努力指標> ・「サービス規律を遵守するようにしている。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートの肯定的評価が (A): 80%以上 (100%) B: 70~80%未満 C: 50~70%未満 D: 50%未満		
5	多忙化改善・業務の効率化 ①働き方改革の意識 ②業務の効率化の推進	<成果指標> ・「自分の業務に見通しを持ち、切や時間を意識して取り組んでいる。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートの肯定的評価が (A): 80%以上 (93.0%) B: 70~80%未満 C: 50~70%未満 D: 50%未満	A	○昨年度の後期に比べ、今年度の前期は、教職員の意識が高まっている。 ・昨年度に引き続き、業務改善という視点で会議の簡素化、主任業務の見直しなど、具体的な取組を進めている。 ・退校時刻の確認（最終退校時刻19:00）を行い、仕事の優先順位をつけ、見通しをもって自分の業務を行えるように、引き継ぎ業務の効率化に取り組んでいく。 ・2学期は、大きな行事や研究発表会があるが、教職員それぞれが高い意識をもち、何が削減できるか考え業務改善を図っていく。
		<満足度指標> ・「業務改善を意識し、業務の効率化を図るための工夫をしている。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートの肯定的評価が (A): 80点以上 (100%) B: 70~80%未満 C: 50~70%未満 D: 50%未満		
		<努力指標> ・「効率的に業務を行うために、身辺（机まわり）を整理整頓し共有物の扱いにも気を配っている。」と答える教職員の肯定的評価	教職員アンケートの肯定的評価が (A): 80%以上 (93.0%) B: 70~80%未満 C: 50~70%未満 D: 50%未満		

